

事業報告

I 概況

2025年度は、各種講習会は募集定員を上回る参加者を受け入れました。運転業務研究発表会も含めて、意見交換会では会員間の交流にも重点を置きました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受け参加費が増加しましたが、多くの会社の参加により充実した調査が行われました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は計画通り全て実施したほか、試乗会は例年に比べて多くの参加者が集まりました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査では、聴力の基準に対応する補聴器に係る検査方法及び評価上の注意等について調査検討を行いました。さらに、動力車操縦者の身体検査時の産業医のための身体検査マニュアルを整理して、国土交通省に報告しました。

特定技能制度、育成就労制度への対応として、特定技能1号評価試験を初めて実施したほか、外国人が段階的に技能を身につけながら働くことを目的とした育成就労制度についてもプレテストを実施するなど準備を進めました。

II 会務関係

会務活動については、2025年6月27日に第15回定時社員総会、第15回評議委員会及び第57回、第58回理事会を、11月21日に第59回理事会、第30回支部長会議を開催した他、2026年3月6日に第60回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第19回運営委員会を2024年8月18日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

1 第15回定時社員総会

2025年6月27日 13時30分から、第15回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数22,546名中、出席者76名、委任状20,021名、合計20,096名（正会員及び法人会員総数の89.1%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

(1) 報告事項

- ・2024年度事業報告
- ・2025年度事業計画及び収支予算について

(2) 決議事項

- 第1号議案 2024年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 定款の改定に関する件
- 第3号議案 理事及び監事の選任に関する件

2 第15回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2025年6月27日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

議 案 理事の候補者に関する件

報告事項 評議委員会委員

そ の 他 総会附議事項の説明を行った。

3 理事会

(1) 第57回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2025年6月27日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2024年度事業報告について
- 第2号議案 2024年度決算及び監査報告に関する件
- 第3号議案 第15回定時社員総会への附議事項に関する件

ア 報告事項

- ・ 2024年度事業報告
- ・ 2025年度事業計画及び予算

イ 決議事項

- ・ 2024年度決算の承認に関する件
- ・ 定款の改正に関する件
- ・ 理事及び監事の選任に関する件

(2) 第58回理事会 ステーションコンファレンス万世橋 304会議室

2025年6月27日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

- 第1号議案 会長選定の件
- 第2号議案 副会長、専務理事及び代表理事選定の件
- 第3号議案 執行理事選定の件
- 第4号議案 名誉会長選任の件
- 第5号議案 顧問選任の件
- 第6号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件
- 第7号議案 執行理事の辞任に伴う退職慰労金支給の承認に関する件

(3) 第59回理事会 ステーションコンファレンス万世橋 405会議室

2025年11月21日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2025年度表彰に関する件
2025年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品
表彰者の決定について

報告事項

- ・ 2025年度上半期決算報告について
- ・ 東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・ 2025年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・ 運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・ 会員状況について
- ・ 会務報告と今後の予定

(4) 第60回理事会 喜山倶楽部

2026年3月6日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2025年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件
- 第2号議案 第15回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・ 2025年度決算見込みについて
- ・ 2026年度の主要会務予定について
- ・ 会員状況について
- ・ 運転設備研修講座の開催について
- ・ 運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・ 運転法規研修講座の開催について
- ・ 研修・講習会のご案内

4 運営委員会

第19回運営委員会 喜山倶楽部

2025年 8月18日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・ 2025年度の会務経過と今後の予定
- ・ 会員状況について
- ・ 運転理論講習会開催について
- ・ 運転法規研修講座開催について
- ・ 運転関係指導者講習会開催について
- ・ 2025年度（第46回）運転業務研究会発表会について

審議事項

- ・ 2025年度 運転功労者表彰の支部別割当数について

- 5 第30回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋 406会議室
2025年11月21日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。

- ・ 支部別等会員数
- ・ 支部別・事業者別正会員数
- ・ 支部別・運輸局別法人会員数
- ・ 支部会員数の各年度月別推移
- ・ 日本鉄道運転協会経理状況推移
- ・ 支部活動状況

- 6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋 406会議室
2025年11月21日 15時30分から開催し、候補案件を審議した。
その結果、下記案件に決定した。

- ・ 駅前大橋ルート整備について（広島電鉄株式会社）

7 企画委員会

- (1) 第311回開催 JR九州鹿児島支社会議室
2025年5月22日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・ 事業経過と今後の予定について
- ・ 正会員数について
- ・ 運転理論（運転曲線）講習会の開催について
- ・ 運転業務研究発表会の開催について
- ・ 各社局の情報連絡について
- ・ その他

- (2) 第312回開催 横浜開港記念館一号室
2025年7月17日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・ 事業経過と今後の予定について
- ・ 正会員数について
- ・ 運転法規研修会の開催について
- ・ 運転関係指導者講習会の開催について
- ・ 東記念賞の推薦について
- ・ 各社局の情報連絡について
- ・ その他

- (3) 第313回開催 ホテルアベスト札幌会議室
2025年9月18日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・ 事業経過と今後の予定について
- ・ 正会員数について
- ・ 運転功労者表彰の支部別割当について
- ・ 運転関係指導者講習会について
- ・ 運転業務研究発表会について
- ・ 東記念賞業績候補への申請について
- ・ 運転協会の功績者褒賞の推薦について

- ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (4) 第314回開催 地下鉄博物館 館内会議室
2025年11月12日（水）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・運転業務研究発表会について
 - ・運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・東記念賞業績候補への申請（案）について
 - ・2025年度運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (5) 第315回開催 東急電鉄株式会社 鉄道研修センター
2026年1月15日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・運転協会創立67周年記念式典での2025年度各賞の表彰について
 - ・運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (6) 第316回開催 西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部会議室
2026年3月5日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行う。（予定）
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・第66回海外鉄道視察団の派遣について
 - ・2026年度運転設備研修講座について
 - ・2025年度決算見込み及び2026年度予算案について
 - ・2026年度日本鉄道運転協会事業計画（案）について
 - ・2026年度運転協会主催研修会・講習会について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他

8 運転管理研究委員会

- (1) 第29回開催 喜山倶楽部 光琳の間
2025年5月8日（水）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「運輸職における労働力不足への対応、人材確保に向けた取り組みについて」
調査結果報告、質疑
 - ・次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (2) 第30回開催 四国旅客鉄道株式会社 本社会議室
2025年11月27日（木）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「運輸職における労働力不足への対応、高効率な業務運営に資する取り組みについて」
調査結果の報告、質疑
 - ・委員長、副委員長の改選（選出）について
 - ・2025年度の委員長、副委員長（2名）の改選（選出）について
 - 委員長：野中 俊昭（小田急電鉄㈱） ⇒ 村上 潤（東急電鉄㈱）
 - 副委員長：熊本 大誉（東日本旅客鉄道㈱） ⇒ 有本 政弘（東海旅客鉄道㈱）
 - 副委員長：彌永 高則（福岡市交通局） ⇒ 本間 篤史（札幌市交通局）
 - ・各社局の情報連絡について

9 安全情報委員会

2025年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

10 運転協会誌編集委員会

2025年度は、6月5日に札幌、9月12日に大阪、11月6日に福岡で開催した他、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

11 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員状況の対策ため、全国事務担当者会議を前期6月12～13日に盛岡、後期は12月11～12日に広島にて開催した。また、関東地区事務担当者会議を9月12日に守谷にて開催、関西地区事務担当者会議を10月17日に箕面にて開催した。

12 支部活動

(1) 北海道支部	2025年10月 2日	会計監査	
	2025年10月17日	支部総会	
(2) 東北支部	2025年 5月 8日	会計監査	
	2025年 5月15日	支部総会	
	2025年11月 5日	見学会	
(3) 新潟支部	2025年 9月12日	会計監査	
	2025年11月19日	運営委員会	
	2025年11月19日	支部総会	
(4) 中部支部	2025年 7月23日	見学会	
	2025年 8月29日	会計監査	
	2025年 9月24日	支部総会	講演
(5) 関西支部	2025年 5月 8日	会計監査	
	2025年 7月11日	運営委員会	
	2025年 8月 1日	支部総会	講演
(6) 広島支部	2025年 9月 1日	会計監査	
	2025年 9月 1日	支部総会	
	2025年 9月 1日	運転業務研究発表会	
(7) 四国支部	2026年 2月 4日	会計監査	
	2026年 3月10日	支部総会	講演
(8) 九州支部	2025年 6月 3日	会計監査	
	2025年 6月27日	幹事会	
	2025年 7月24日	運営委員会	
	2025年 7月24日	支部総会	講演
(9) 関東部会	2025年 9月 3日		

13 講演・試乗会

(1) 講演会

- ・第15回定時社員総会 2025年6月27日
講演者 一般社団法人 日本気象協会 鈴木 靖 様
演 題 「異常気象の多発と気候変動」ー激甚化する気象災害への備えー
- ・中部支部総会 2025年9月24日
講演者 近畿日本鉄道株式会社 産業医 酒井秀精 様
演 題 「怒りと上手に付き合うアンガーマネジメント入門」
- ・関西支部総会 2025年8月1日
講演者 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 安全研究所

- ヒューマンファクターⅡ研究室 担当室長 堀下 智子 様
- 演 題 心理的安全性
- ・四国支部総会 2026年3月10日
講演者 公益財団法人 鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理
研究室長 村越 暁子 様
演 題 「違反防止策と安全風土について」
 - ・九州支部総会 2025年7月24日
講演者 福岡地域戦略推進協議会
ディレクター 片田 江由佳 様
演 題 「産学官民の一体となった事業の創出についてアプローチ手法や実例」

(2) 試乗会

- ・2025年9月 東京臨海高速鉄道 新型車両71-000形 試乗会 (105名)
- ・2026年1月 近畿日本鉄道株式会社 新型一般車両「1A系」試乗会 (32名)
- ・2026年1月 京王電鉄株式会社 新型車両2000系 試乗会 (137名)

1.4 役員及び職員等 (2026年3月31日現在)

役 職 名	定 員	実 員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事（上記を除く）	46名以内	45名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	9名

1.5 会員数 (2026年3月1日現在)

正会員（個人）	21,770名（対前年同期比	961名減）
法人会員	231社（対前年同期比	1社増）

III 事業関係

1 2025年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマや会員からの意見の特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「令和7年度鉄道に関する技術上の基準を定める省令第97条（駐車場の境界）等に関する調査検討」、「令和7年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。
また、国土交通省から一般社団法人日本鉄道電気技術協会が受託した「令和7年度地域鉄道における自動運転の導入を目指した列車制御システムに関する検討」のうち「標準的な仕様における運転取扱いの課題整理」について一般社団法人日本鉄道電気技術協会から再受託した。
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「山手線ドライバレス運転検討委員会」を受託した。
- (3) 自主研究は『異常時における基本的な対応・取組みについて』3月19日開催の第2回委員会において報告書原案、次期研究テーマ、次期委員長、副委員長の選出について承認された。
- (4) 2025年度の講習会は、運転設備研修講座（93名）、運転法規研修講座（140名）、運転理論（運転曲線）講習会（69名）、運転関係指導者講習会（219名）、運輸業務管理ゼミナール（95名）の合計616名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、46回目となり11月13日、14日に開催され33件の研究テ

- マの発表があった。入場者数は558名であった。
- (6) 海外鉄道視察団派遣は、9月23日～10月2日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。参加人員20名。

2 運転協会誌発行

第67巻4月号から第68巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2025年	4月号	乗務員の睡眠	特集
〃	5月号	乗務員指導者	特集
〃	6月号	第三セクター鉄道	特集
〃	7月号	ダイヤ改正	特集
〃	8月号	鉄道施設の保守・整備	特集
〃	9月号	D Xの取組み	特集
〃	10月号	定期外旅客の創造	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	降積雪対策	特集
2026年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	働き方改革	特集

3 図書発行・販売

- (1) 「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第九版）（令和6年6月発行）
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は446冊であった。
- (2) 「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は119冊であった。
- (3) 「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は1冊であった。
（2025年7月18日販売終了）
- (4) 「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、129冊の販売であった。
- (5) 「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」（平成25年12月発行）
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、23冊の販売数であった。
- (6) 「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は34冊であった。
- (7) 「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラー行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は23冊であった。

- (8)「実践運転概論」(第二版) (令和2年6月発行)
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。
また、一部版の改訂を行った。販売数は10冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」(初版) (平成27年3月発行)
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は24冊であった。
- (10) このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数は583冊であった。

4 受託調査研究

- (1)「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第97条(駐車場の境界)等に関する調査検討」(国土交通省委託)

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2025年度は、運転の実務者において駐車場・停留場の意識と異なる定義になっていることを懸念する意見があったことから、「駐車場」と「停留場」の使い分けについて、閉塞方式の変更を行う際の具体的な運転取扱いを整理し、各部門で用語の使い方を確認し、見直しの方針案を作成する等再整理を行った。

なお、運転の技術基準等の見直し等に関する調査について、鉄道事業者等に対して、技術基準等の運用上の問題点や、技術革新や社会環境の変化などによるニーズ等を把握するための調査を行い、その結果をとりまとめ、見直し等の必要性について整理する検討を行った。

- (2)「令和7年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」(国土交通省委託)

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令(以下、「動免省令」という。)において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」(以下、「指導基準通達」という。)において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われることがないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和6年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を昨年度に引き続き国土交通省から委託され、報告した。

- (3)「令和7年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」(国土交通省委託)

動力車操縦者の身体検査(視機能・聴力)について身体検査の合格基準については、医療技術の発達や社会情勢の変化を踏まえ、動力車操縦者(以下「運転士」という。)が適正な環境下で健全な状態で乗務できることを目的に適宜改正しており、平成13年度には、実質的な身体機能及び運動機能に着目した「能力基準」に改められているとともに、その後も運転士の資質に関する各種調査検討を重ねてきているところである。

しかしながら、同身体検査の項目のうち「聴力」については、補聴器の使用が一般的となっているが、動力車操縦者における補聴器の使用及びその運用上の課題が多く、今後の検討課題とされていることから、運転士の資質の維持向上と鉄軌道輸送の安全が確保されることを前提に、動免省令別表2に規定する聴力の基準に対応する補聴器に係る検査方法及び評価上の注意等について調査検討を行う委託され、国土交通省に報告した。

また、同身体検査の合格基準に適合するかの検査及び判定について適正かつ標準的な運用を図るための指針である動力車操縦者身体検査マニュアル(仮称)には、同身体検査の項目のうち「中毒」に関する検査及び判定等の内容が示されていないことから、運転士の資質の維持向上と鉄軌道輸送の安全が確保されることを前提に、動力車操縦者身体検査マニュアル(仮称)に反映すべき中毒に関する検査方法及び評価上の注意等の内容について調査検討を国土交通省から委託され、報告した。

(4)「山手線ドライバレス運転検討委員会」 (JR 東日本委託)

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的でサステナブルな鉄道経営を維持し、より安全でかつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、山手線へのドライバレス運転導入に向けた検討、開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、JR 東日本から委託され「山手線ドライバレス運転検討委員会」を設立。全 6 回の検討委員会のうち、今年度は 3 回の検討委員会を実施した。

5 自主研究

2024 年度 (第 4 2 回) 調査研究テーマ『異常時における基本的な対応・取組みについて』と『アンケート内容』について第 1 回委員会にて承認をいただき、2025 年 4 月に 29 社局へアンケート調査を実施した。現在、小委員会 3 回、幹事会 21 回開催し、研究成果について 2026 年 3 月を目標に取り纏め、第 2 回委員会で報告・承認いただいた後、2026 年 5 月中旬を目途に製本し、実効性の高い報告書を各事業者へ配布できるよう取り組んでいる。

6 講習会等

(1) 第 30 回運転設備研修講座

・施行日	2025 年 6 月 11 日～13 日	
・会場	機械振興会館	
・受講者	93 名	
・講師	(順不同・敬称略)	
国土交通省鉄道局技術企画課	専門官	川又 夕希子 氏
東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部	安全企画部主幹	片方 喜信 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会	顧問	寒河江 仁 氏
西武鉄道株式会社 鉄道本部	安全推進部長	高橋 正信 氏

(2) 第 31 回運転理論 (運転曲線) 講習会

・施行日	2025 年 8 月 19 日～22 日	
・会場	機械振興会館	
・受講者	69 名	
・講師		
元 JR 水戸鉄道サービス(株)	監査役	赤津 尚孝 氏

(3) 第 31 回運転法規研修講座

・施行日	2025 年 9 月 10 日～12 日	
・会場	機械振興会館	
・受講者	140 名	
・講師	(順不同・敬称略)	
国土交通省鉄道局技術企画課	運転基準係長	荒井 健吾 氏
東京地下鉄 (株) 安全・技術部	技術管理担当部長	作原 敏弘 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会	顧問	石濱 順吉 氏

(4) 第 60 回運転関係指導者講習会

・開催日	前期 2025 年 10 月 8 日 (水)～10 日 (金)	
	後期 2025 年 10 月 22 日 (水)～24 日 (金)	
・会場	機械振興会館	
・受講者	219 名 (前期 96 名 後期 123 名)	
・講師	(順不同、敬称略)	
国土交通省 鉄道局	安全監理官	高井 誠治 氏
JR 東日本健康推進センター	医学適性科担当部長	山本 尚寿 氏
(株) JR 東日本パーソネルサービス	常勤顧問	佐藤 寿 氏
株式会社ルミネクリエーツ	顧問	土屋 博一 氏
(株) JR 東日本パーソネルサービス	ソリューション事業部	
	人事法規チーム 部長	吉田 秀貴 氏

政策研究大学院大学	教授	鈴木 博人 氏
エラー・コッ研究所	代表 博士（心理学）	楠神 健 氏
(株)パーソネルサービス(派遣依頼)	(株)オンリーワン専属講師	川添 美和 氏

(5) 第23回 運輸業務管理ゼミナール

- ・施行日 2026年 2月5日～ 6日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 95名
- ・講師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	高井 誠治 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	森 みや子 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教授	重森 雅嘉 氏

7 第65回海外鉄道視察団派遣

2025年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者20名で開催、9月23日～10月2日までの10日間の行程で欧州3か国（ポルトガル、スペイン、フランス）を訪問、視察を行った。

8 第46回運輸業務研究発表会

- (1) 実施日 2025年11月13日（木）、11月14日（金）
- (2) 会場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料
- (4) 発表社局と発表テーマ 30社局33テーマ（2025年度までの累積発表件数1,062件）
- (5) 発表者と表彰結果

第46回運輸業務研究発表作品数は33件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞15社であった。

（運輸業研発表会作品成績表 別紙－1参照）

9 創立記念式典及び表彰関係

2026年1月29日創立67周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運輸功労者表彰、運輸協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。

（運輸功労者賞、運輸協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙－2、3参照）

(1) 東記念賞

件 名	受 賞 者
駅前大橋ルート整備について	広島電鉄株式会社

- (2) 運輸功労者賞：鉄道の運輸業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された28名に表彰状を授与した。累計では2025年度までに1,291名を数える。
- (3) 運輸協会誌優秀作品賞：運輸協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞3名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞：運輸協会の発展に特に貢献された5名に褒賞を授与した。

10 運輸協会誌表紙写真コンテスト

2026年度用運輸協会誌表紙写真コンテスト（応募者63名、作品249点）は、2026年3月5日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	雪ニモマケズ	西武鉄道(株)	原田 棕介 氏
1等	祭りの日	相模鉄道(株)	野渡 優弥 氏
	黒き咆哮	西武鉄道(株)	竹内 智宏 氏
	夕日を浴びて	江ノ島電鉄(株)	御園生 隆之 氏
2等	6点		
佳作	10点		

(運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙－4 参照)

1.1 特定技能制度、育成就労制度への対応

2019年4月1日に始まった改正出入国管理及び難民認定法により、「特定技能」という新しい外国人在留資格が設けられ、鉄道分野においては、軌道整備、電気設備整備、車両整備、車両製造、運輸係員、駅・車両清掃の6つの業務区分で、即戦力となる外国人を受け入れることができるようになった。当協会は運輸係員区分の試験実施機関として、会員各社の協力を仰ぎながら、特定技能評価試験の準備を進めてきた。2026年3月20日には、初めての特定技能評価試験を実施した。

また外国人が段階的に技能を身につけながら働くことを目的とした育成就労制度についても、当協会が試験実施機関として指定されたことを受けて、2027年4月1日の施行日に向けて、準備を進めている。

2025 年度 第 46 回 運転業務研究発表会 研究作品成績表

賞	標 題	会 社 名	職場名
鉄道局長賞	AI を用いた多客時の体制構築と雑踏事故防止	東海旅客鉄道株式会社	関西支社 新大阪駅
協会会長賞	車掌カメラの導入について	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 桜上水乗務区
交通新聞社賞	インバウンドへの異常時案内対応	南海電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部運転課 和歌山・泉南管区 関西空港駅
審査員特別賞	成長支援 ～個人カルテが導く安全文化～	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運輸車両部 大野乗務所
優秀賞	ヒヤリハットチームなんていない！	東急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 長津田車掌区
優秀賞	西武鉄道版 鹿衝撃減少への挑戦	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 飯能乗務所
優秀賞	駆け込み乗車抑止灯の有効性評価	福岡市交通局	運輸部 姪浜乗務事務所 鉄道異常時対策委員会
優秀賞	異常時対応の新たなカタチ～アナデジ融合～	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 東部列車所
優秀賞	乗務員アシストツールの開発と有効性の検証	東日本旅客鉄道株式会社	東北本部 仙台統括センター 仙台乗務業務ユニット
優秀賞	乗務員運用変更における調整方法の改善	西日本旅客鉄道株式会社	金沢支社 金沢新幹線総合指令所
優秀賞	運転支援アプリの開発とGPSの処理について	北海道旅客鉄道株式会社	運輸部 運用課 札幌運転所
奨励賞	過去から未来へ紡ぐDX化による情報共有	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運転部 南北線乗務管区
奨励賞	車掌の判断能力向上に向けた教育手法の研究	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 中津川運輸区
奨励賞	インバウンド旅客と乗務員の安心快適の追求	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運転係
奨励賞	業務用タブレットの検討について	札幌市交通局	高速電車部 運輸課 東豊線乗務係
奨励賞	急病人対応の向上について	名古屋鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転保安部 瀬戸運輸区
奨励賞	届かぬ声は文字でお届け！指令の見える化	相模鉄道株式会社	運輸車両部 運輸課 運輸司令所
奨励賞	ワンマン運転における現状の課題と対策	大阪市高速電気軌道株式会社	交通事業本部 運転部 乗務運輸事務所今里乗務所
努力賞	ワンランク上のエコ運転を目指して	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 金沢文庫乗務区
努力賞	編成両数誤認による停止位置間違い防止対策	横浜市交通局	高速鉄道本部 川和乗務管理所
努力賞	事故・災害発生時における指令対応力強化	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運行課運転指令
努力賞	乗務中の不安を解消するタブレットの活用	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 営業統括部 運輸部 南栗橋乗務管区
努力賞	高齢のお客さまに安心してご利用いただく為に	山陽電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 運転課 乗務管区
努力賞	酷暑日の異常時におけるお客様の安全確保	愛知環状鉄道株式会社	運転課
努力賞	乗務員を支える仮眠文化の醸成に向けた実践	首都圏新都市鉄道株式会社	乗務管理所
努力賞	防犯盾導入による安全性の確保について	仙台空港鉄道株式会社	運輸管理所・営業課
努力賞	視界良好と適切な操業でお客さまを守る	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 大阪列車区
努力賞	ヒューマンエラーの可視化	西日本鉄道株式会社	運転車両部 運転課 筑紫乗務所
努力賞	ホームドアの更なる安全性向上を目指して	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運転係
努力賞	運転士のマルチスキル化に向けた取組み	九州旅客鉄道株式会社	熊本乗務センター
努力賞	共育～共に育ち次に継げる職場づくり～	四国旅客鉄道株式会社	高松運転所車掌科
努力賞	データベースを活用したヒューマンエラー分析	日本貨物鉄道株式会社	北海道支社 五稜郭機関区
努力賞	警察・消防との異例事態対応訓練を通して	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 大和八木駅

賞 鉄道局長賞 1 会長賞 1 交通新聞社賞 1 審査員特別賞 1
優秀賞 7 奨励賞 7 努力賞 15

2025 年度 運転功労者表彰

番号	支部	賞	社 名	所属部署・役職	氏 名
1	北海道	運転功労者	北海道旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 運輸部・専任課長	吉田 浩則
2	東北	運転功労者	J R 盛岡鉄道サービス株式会社	本社・常務取締役	森田 美喜男
3	新潟	運転功労者	株式会社 JR 西日本金沢メンテック	安全品質本部・取締役品質本部長	上坂 敏美
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	高崎支社 高崎統括センター (乗務ユニット)・乗務統括	久保 貴士
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	首都圏本部 鉄道事業部 安全企画 ユニット(企画戦略)・マネージャー	北澤 茂
6	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	経営戦略部 人事開発課 鉄道研修 センター・課長補佐	須山 和明
7	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 世田谷線管 区・区長	中村 雄治
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	東西線乗務管区・区長	斉藤 正利
9	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 管理課・課長 補佐	西田 正人
10	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 新宿 管区・管区長	竹島 亮二
11	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	人事部出向(次長待遇) 伊豆箱根鉄道株式会社	植松 晃
12	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 新津田沼駅・駅長	新目 和雄
13	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 八千代台駅・駅長	岩崎 啓史
14	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 運転課・課長補佐	関 淳也
15	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 喜多見乗務所・助役	田口 清司
16	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 東京駅 助役(輸送科長指定)	島田 秀行
17	関東	運転功労者	株式会社小田急箱根	鉄道部・課長代理	遠藤 守
18	関東	運転功労者	株式会社ゆりかもめ	運輸部・運輸課長	栗原 英人
19	中部	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 運行課・課長補佐	稲垣 幸治
20	中部	運転功労者	名古屋鉄道株式会社	金山幹事駅・幹事駅長	豊田 康之
21	中部	運転功労者	天竜浜名湖鉄道株式会社	運輸技術部 運転課・運転課長	平岩 清
22	関西	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	大阪第一運輸所・助役(総務課長)	平尾 徹也
23	関西	運転功労者	西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部 京橋電車区・区長	龍野 二三男
24	関西	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 企画統括部 運転保安部 ・課長補佐	森本 克彦
25	関西	運転功労者	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線 運輸課 運輸係・運転係長	山本 敏己
26	関西	運転功労者	南海電気鉄道株式会社	運輸車両部 輸送指令・輸送司令長	久才 真一
27	広島	運転功労者	広島高速交通株式会社	運輸部 運輸課 課長補佐(事務取 扱)運輸係長	高知 良二
28	九州	運転功労者	九州旅客鉄道株式会社	小倉運転区・区長	佐藤 健

2025 年度 運転協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞

1 優秀論文会長賞作品

執筆者名	会社名	標 題
嶋田 和真	名古屋鉄道株式会社	乗務員タブレットでもっと安全に, もっと便利に(2025.9 月号)

2 優秀論文賞作品

執筆者名	会社名	標 題
前田 英律	東海旅客鉄道株式会社	東海旅客鉄道の国際関係業務(2025.1 月号)
野間 浩二	阪急電鉄株式会社	神戸線ダイヤ改正 神戸本線すべての列車を 8 両編成に統一せよ—スジ屋の苦悩はじまる—(2025.7 月号)
千葉 浩正	首都圏新都市鉄道株式会社	TX における指定養成所の新規開設(2024.12 月号)

3 優秀エッセイ賞作品

執筆者名	会社名	標 題
梶谷 勇一	一畑電車株式会社	【鉄道紀行】(456) 神々の集う地〜出雲へ誘う参詣電車(2025.2 月号)
富岡 有光	真岡鐵道株式会社	【鉄道紀行】(462) 響け! 汽車の汽笛と感動の声(2025.8 月号)
山田 晃裕	智頭急行株式会社	【運転日誌余話】(395) 運転士編 入社 20 年目社員の初めての運転士養成(2025.3 月号)

2025 年度 協会功労者褒章

執筆者名	会社名	職 名
山崎 直	小田急電鉄株式会社	課長
塚田 雅弘	名古屋鉄道株式会社	事業統括課長兼名駅再開発事業部課長
小森 健一	京急サービス株式会社	鉄道事業部長
山本 俊之	西武鉄道株式会社	運転司令長兼情報司令長
山口 嘉之	東急電鉄株式会社	溝の口乗務区 区長

2026 年度 運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 63 名 249 点

賞	氏 名	所 属 会 社	作 品 名
特 選	原 田 椋 介	西武鉄道(株)	雪ニモマケズ
1 等	野 渡 優 弥	相模鉄道(株)	祭りの日
	竹 内 智 宏	西武鉄道(株)	黒き咆哮
	御園生 隆之	江ノ島電鉄(株)	夕日を浴びて
2 等	寺 澤 秀 樹	愛知環状鉄道(株)	ローカル駅の春
	谷 元 健 治	しなの鉄道(株)	流水物語号
	小坂橋 美次	東日本旅客鉄道(株)	蒼海を渡る余部橋梁
	岩 崎 武	近畿日本鉄道(株)	光の中へ
	中 久 喜 保	相模鉄道(株)	晩秋の煙
	固 山 敏 行	京三エレコス(株)	静かな朝
佳 作	樋 口 貴 士	西日本旅客鉄道(株)	白銀の頂
	中 原 英 雄	東急電鉄(株)	離合
	南 部 司	東急電鉄(株)	黄昏タイム
	小 峰 一 茂	東武鉄道(株)	上白滝春景色
	原 田 将 浩	南海電気鉄道(株)	爆雪！宗谷の守護神
	佐 藤 峻	東急電鉄(株)	トワイライトタイム
	志 村 泰 洋	東武鉄道(株)	新緑輝く時
	塩 谷 紘 人	東葉高速鉄道(株)	夜光列車の目覚め
	清 水 大 輔	近畿日本鉄道(株)	緑のトンネル
	吉 田 忠 司	京王電鉄(株)	祭の中